

PAT-NO: JP408089325A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 08089325 A

TITLE: COSMETIC AND JEWELRY CLASSIFYING CONTAINER

PUBN-DATE: April 9, 1996

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

WOLFF, STACY L

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

RUBBERMAID INC

COUNTRY

N/A

APPL-NO: JP06012085

APPL-DATE: January 7, 1994

INT-CL (IPC): A45C011/16, A45D040/24

ABSTRACT:

PURPOSE: To store many kinds of cosmetics and jewelry in a good order by installing a tray part in a tray assembly, and pivotally fixing holders in the tray specially configured to hold and to support specific items.

CONSTITUTION: A base portion 12 having an open upper part is formed by a bottom side 29, side walls 33, 34 standing upright on the bottom side 29 and end walls 35, 36. A cover portion 11 that selectively shuts the open upper

portion, and tray assemblies 48, 49 which are supported by the base portion, are formed. One of the tray assemblies 48 is formed by a tray element having a side wall 57 standing upright on the bottom side 56, inner wall 58 and outer wall 59, and a spring holder 63 is so installed that it matches to the shape of specific items by supporting a pin 66 inserted in a socket 67 formed on the side wall 57 of the tray assembly. The other assembly 49 is pivotally structured as the same. Therefore, cosmetics and the likes are kept in a good order.

COPYRIGHT: (C)1996,JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-89325

(43) 公開日 平成8年(1996)4月9日

(51) IntCl.⁵

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

A 4 5 C 11/16

A 4 5 D 40/24

審査請求 未請求 請求項の数19 F D (全 7 頁)

(21) 出願番号 特願平6-12085

(22) 出願日 平成6年(1994)1月7日

(31) 優先権主張番号 2 4 7 6

(32) 優先日 1993年1月8日

(33) 優先権主張国 米国 (US)

(71) 出願人 591178931

ラバーメイド・インコーポレイテッド
RUBBERMAID INCORPORATED

アメリカ合衆国オハイオ州ウースター、ア
クロン・ロード1147

(72) 発明者 ステイシー・エル・ウォルフ

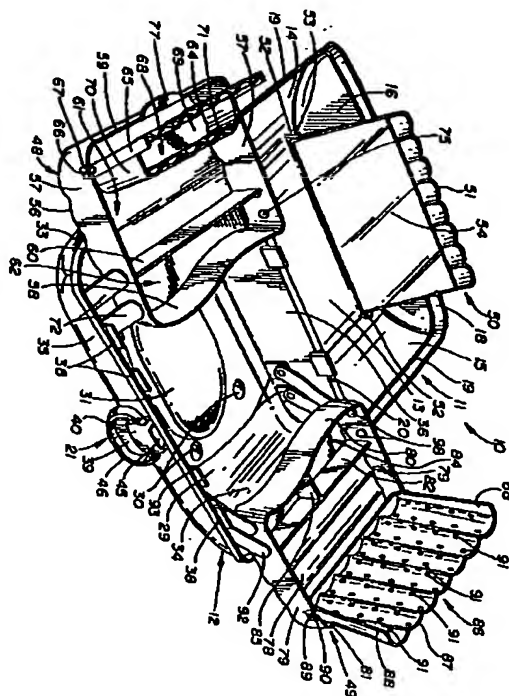
アメリカ合衆国オハイオ州アクロン、ハン
ト・クラブ・ドライブ157、アパートメン
ト1シー

(74) 代理人 弁理士 竹内 澄夫 (外2名)

(54) 【発明の名称】 化粧品・宝飾品分類容器

(57) 【要約】

化粧品や宝飾品類を整然と分類して保持し保管する分類容器であって、ベース部分(12)とカバー部分(11)とから成り、ベース部分(12)には、トレー組立体(48,49)がベース部分の内部にある位置から、側壁(33,34)上に乗った位置まで移動できるようにリンクアーム(72,92)により結合されている。各トレー組立体は、口紅やイヤリングなどのような特定形状の化粧品、宝飾品を保持するように特定の形状づけられた多数の区画(61,62,83,84)と、枢動ホルダー(68,86)とをもつトレーから成る。カバー部分(11)には鏡ケース(50)が枢着され、その中に鏡(54)を支持している。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 特定形状の宝飾品や化粧品類及びその他の形状の物品を保持する容器であって、底表面とそこから上向きに延びて開放上部を形成する側壁と端壁を有するベース部分、前記開放上部を選択的に閉じるカバー部分、及び前記ベース部分に支持されたトレー組立体から成り、前記トレー組立体はトレー部材と、このトレー部材に枢着され、特定形状の物品の形に一致してこれを支持するように形状づけられた保持部材とを有する化粧品・宝飾品分類容器。

【請求項2】 さらに、前記ベース部分に支持された第2トレー組立体を有し、この第2トレー組立体は特定形状の物品の形に一致してこれを支持するように形状づけられた枢動部材を有している請求項1に記載の容器。

【請求項3】 さらに、前記カバー部分に枢着された鏡を有する請求項2に記載の容器。

【請求項4】 前記トレー組立体は前記トレー部材に形成された区画を有していて、この区画は特定形状の物品の形に一致してこれを支持するように形状づけられた底表面を有している請求項1に記載の容器。

【請求項5】 さらに、前記トレー部材に形成された第2の区画を有し、この第2の区画は何らかの形状の物品を支持するように形状づけられた請求項4に記載の容器。

【請求項6】 さらに、前記ベース部分に支持された第2のトレー組立体を有し、この第2のトレー組立体は、トレー部材と、このトレー部材に枢着されていて特定形状の物品の形に一致してこれを支持するように形状づけられた枢動部材と、第2のトレー組立体のトレー部材の中に形成された複数区画とを有し、この区画の少なくとも1つは特定形状物品の形に一致してこれを支持するように形状づけられた底表面を有する請求項5に記載の容器。

【請求項7】 底表面とそこから上向きに延びて開放上部を形成する側壁と端壁を有するベース部分、前記開放上部を選択的に閉じるカバー部分、及び前記ベース部分に支持されたトレー組立体から成り、前記トレー組立体は枢動部材を有し、この枢動部材は向き合った波形状の壁をもつ区画を有し、この向き合った波形状の壁の間には円筒形の物品が受入れられるようになっている物品保持容器。

【請求項8】 前記保持部材は小孔を有し、この保持部材に支持される前記特定形状の物品は前記小孔に受け入れられるイヤリングである請求項1に記載の容器。

【請求項9】 さらに、前記トレー組立体を前記ベース部分に連結するリンク手段を有し、それにより前記トレー組立体は前記側壁の間にある位置から側壁の一方の上方にある位置へ平らに移動することができる請求項1に記載の容器。

【請求項10】 前記リンク手段は、前記トレー組立体

が前記側壁間の位置にある時にこのトレー組立体を支えるリブ部材を有している請求項9に記載の容器。

【請求項11】 さらに、第2のトレー組立体と、この第2のトレー組立体を前記ベース部分に連結して第2のトレー組立体を前記側壁の間にある位置から他方の側壁の上方にある位置へ平らに移動することができるようにする第2のリンク手段とを有し、前記トレー組立体及び第2のトレー組立体が平らに移動された時は前記底表面が露出される請求項9に記載の容器。

10 【請求項12】 さらに、前記カバー部分に枢着されたケースと、このケースに支持された鏡とを有し、前記ケースを開位置から閉位置へ回動すると鏡面が露出される請求項1に記載の容器。

【請求項13】 さらに、前記ケースを開位置に維持するように前記ケースを前記カバー部分に掛止する摺り手段を有する請求項12に記載の容器。

【請求項14】 前記トレー部材が多数の区画を有し、前記保持部材は直立位置にはね上げられるまでは多数区画の少なくとも1つを閉じている請求項1に記載の容器。

20 【請求項15】 さらに、前記カバー部分を前記側壁の1つに枢着するヒンジ機構を有する請求項1に記載の容器。

【請求項16】 さらに、前記カバー部分を前記側壁の他方に選択的に結合するラッチ機構を有する請求項15に記載の容器。

【請求項17】 さらに、前記カバー部分に支持された取っ手を有する請求項1に記載の容器。

30 【請求項18】 さらに、前記カバー部分が凹みを有し、前記取っ手がこの凹みに納まるようにカバー部分に枢着されている請求項17に記載の容器。

【請求項19】 底表面とそこから上向きに延びて開放上部を形成する側壁と端壁を有するベース部分と、前記開放上部を選択的に閉じるカバー部分と、このカバー部分に形成された凹みと、この凹みに納まるように前記カバー部分に枢着されたほゞU字形の取っ手と、この取っ手が前記凹みに入っている時前記取っ手の内側に位置するように前記カバー部分に形成され、前記取っ手とともにカバー部分上に凸起を形成するハブと、前記底表面に形成された底面凹みとから成り、この底面凹みは同じ容器の上にこの容器を積み重ねた時同じ容器の凸起を受入れるようになっている物品保持容器。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の技術分野】 本発明は化粧品や宝飾品等々のような物品を整然と区分けした状態で保管する容器に関するもので、より具体的にはコンパクトであるが多種多様な化粧品や宝飾品の保持区画を形成するように独特に形状づけられていて、これら区画の多くが特定なタイプの化粧品又は宝飾品を保持する特定の形状になっている容

器に関するものである。

【0002】

【発明の背景】化粧品や宝飾品その他類似の物品を保存するように特別に設計された大多数の容器は、側面が柔軟でジッパーのついたパウチ型か、又はカバーを螺着した箱形構造かのいずれかである。カバーを開けた時、多数の開いた区画は、ちょうど釣具箱のように露出されて、化粧品や宝飾品など選択された物品を区分けした状態で保持する。しかし、本発明者の知る限り、特定の形状づけられた化粧品や宝飾品などの物品を保持するように特別に設計されていて、しかもその他すべての形状の化粧品や宝飾品をも保管する能力をもつ区画を有する容器はない。

【0003】

【発明の概要】従って本発明の目的は種々の化粧品や宝飾品などの物品を整然とした状態に保持するのに適した容器を提供することを目的とする。本発明のその他の目的は、閉じるとコンパクトでありながら、なお比較的多量の化粧品や宝飾品類を保持しかつ容易に手を届かせることができる上記のような容器を提供することである。さらに他の本発明の目的は、口紅やイヤリングなどのような特定の物品を保持する特定形状の区画を有すると共にその他の形状の化粧品や宝飾品用の一般的な保存スペースをも有する上記のような容器を提供することである。本発明の追加的な目的は、内部に鏡をコンパクトな態様で支持している上記のような容器を提供することである。さらに他の本発明の目的は、同種容器とキチットはまり込んで積み重ねることができ、輸送や展示の費用を減少させる上記のような容器を提供することである。これらの目的及びその他の目的並びに以下の説明から明らかになるであろう従来技術に対する利点は以下に説明し特許請求の範囲に規定した本発明により達成される。

【0004】要説すると、本発明に従って製作される容器は化粧品、宝飾品などの特定形状の物品と、その他いろいろな形状の化粧品・宝飾品などの物品も保持するように設計されている。この容器は、底表面と、そこから上向きに延びて開放上部を形成する側壁及び端壁を有するベース部分から成る。この開放上部を選択的に閉じるためカバーが設けられる。ベース部分は少なくとも1個のトレー組立体を支持し、このトレー組立体は特定形状の物品を支持するように形状づけられた枢動部材を有している。

【0005】本発明の思想を実現した化粧品・宝飾品分類容器の好適実施例を以下図面を参照して説明するが、これは本発明を具体化するすべての形状態様を示すものではなく、従って以下の説明に限定されるものでなく、特許請求の範囲によって規定されるものである。

【0006】

【実施例】化粧品や宝飾品等々を整然と保管する本発明の容器は全体を符号10で示されている。この容器10

は好適にポリプロピレンで成形されるもので、全体を符号11で示すカバー部分と、符号12で示すベース部分とを有している。カバー部分11の頂表面13はその両端で円弧状側表面14、15に繞いており、またカバー部分は円弧状の前表面16及び後表面17をも有している。側表面14、15と前表面16と後表面17との全下縁にスカート18が形成され、このスカート18から内方へ隔てて周縁リップ19が後述のようにベース12の上縁に乗るように形成されている。カバー11の後表面17は普通のヒンジ機構20でベース12に枢着され、全体を符号21で示す、ベース部分12に支持されたラッチ機構が後に詳述するようにカバー11の前部をベース12の前部に固定する。

【0007】頂表面13は好適にU字形の凹み22を備え、中に中央のハブ23が形成されている。図1及び図7に明示するようにカバー11の後部近くでハブ23は頂表面13より上に出ていて、そこから前へ24で示すように下降して凹み22の底を形成する。取っ手25には内向きのピン26がその両下端に設けられ、これらピンはハブ23のスロット27に受入れられるから、取っ手25はハブ23に対し図1に示した持ち運び（直立）位置から図7の収納位置へ回動することができる。収納位置において取っ手25は一部凹み22の中に入って、取っ手25の上縁がハブ23の最高部とほぼ一致するようになる。こうして、図4、図7に明示のようにハブ23と取っ手25は、後述するように容器10をいくつか積み重ねるのを容易にする位置ぎめ凸起28を形成する。

【0008】ベース部分12は底表面29を有し、ここから下向きに図示のように多数の短い足30が形成されている。隆起した台板31は底表面29に下方の凹み32を形成し、この凹みはカバー11の凸起28の形状と相補的であるから、凸起28は同様ないくつかの容器を安定かつ便宜に積み重ねて横移動を最小にするように凹み32に受入れられる。

【0009】底表面29はその両端で上向き円弧状の側表面33、34に接続し、これらはカバー11の側表面14、15の形状と類似形になっている。同様に、ベース部分12の前表面35と後表面36は底表面29から上向きに延びてカバー11の前表面16、後表面17と類似形になっている。前表面35はラッチ機構21の一部を支持し、後表面36はヒンジ機構20の一部を支持している。

【0010】ベースの側表面33、34と前表面35と後表面36の開いた全上縁にスカート37がカバー11のスカート18と相補状に形成されている。スカート37の内側に多数の縦ぎ板38が隔設され、容器10を閉じた時にカバー11の周縁リップ19がスカート37と縦ぎ板38の間に受入れられる。

【0011】ラッチ機構21は公知のどのようなタイプ

5

のものでもよいが、図7に略示したのは“オーバー・ザ・センター”ラッチ機構として知られるものである。このようなラッチ機構21はラッチハンドル39と、これをベース部分12に結合するリンクアーム40を有する。例えば図1と図4に示すように、リンクアーム40はハンドル39の下方部分内に形成されたほぼU字形の凹み41内に位置している。図7に略示するように、リンクアーム40に形成された周縁リブ42が、ハンドル39の下方部分から凹み41内へ横に延びるピン43を受け入れる。リブ42はまたピン43の上方で外側に位置する他のピン44をも支持し、このピン44はベース部分の前表面35から外側へ延びるナックル45内に受け入れられる。ラッチハンドル39の頂部はフック部材46を備え、これはカバーの前表面16に形成されたロック凸起47に受け入れられる。

【0012】フック部材46がカバーの凸起47に係合することによってラッチ機構21が閉じカバー11をベース12に掛止している(図1及び図7)とき、ラッチ機構21はまずリンクアーム40を持ち上げてピン44の周りに回転させることにより解放され得る。この運動により、ピン43は図7で左へ回転して、ピン44により定められるピボットポイントを通過し、フック部材46を凸起47から弛める。こうして弛むとフック部材46はラッチハンドル39を少し持ち上げることにより凸起47から切り離され、ハンドル39とリンクアーム40は図2、図3に示すような全開位置へピン43上で回転され得る。もちろん再びラッチ機構21を掛けるには、ハンドル39、リンクアーム40をピン43上で上方へ回転させればよく、フック部材46を凸起47に差し込み、リンクアーム40をピン44上で回転させて図7の位置へ戻し、フック部材46が凸起47と噛み合うように引き戻す。

【0013】図5は本発明の容器10を開いた状態で示し、カバー11はヒンジ機構20によりベース部分12に対し回転されている。図5及び図6において、カバー11はベース部分12に対し約90°開いた状態で示されているが、この状態はカバー11を手で支えているか、又は例えば壁などに立てかけた時だけに起きるもので、ベース部分に対し全開すなわち約180°開いた時は図2及び図3に示すような位置になる。

【0014】いずれにしても、図5に示すように容器10を開くと、2つのトレー組立体、すなわちベース部分12に支持されている全体を符号48と49で示すトレー組立体と、カバー11内に支持されている全体を符号50で示す回転鏡ケースとが露出される。

【0015】鏡ケース50は本体部51を有し、これは後述するように容器10内の他の要素と美観的にマッチするように波形表面を備えている。カバーの頂表面13からタブ52が下向きに延びてピン結合53などにより本体部51を回転可能に支持している。こうして本体部

6

51は図2、図5又は図6の位置から図3に示す開いた又は傾いた位置へ回転させられる。開いた位置へ回転した時、本体部51にスナップ嵌めされた鏡54が露出して使用者に化粧品や宝飾品をつける手助けをする。鏡ケース50は本体部51をカバー頂表面13から下向きに延びる掴み55(図4、6、7)にスナップ嵌めすることにより閉じた位置に保持される。

【0016】トレー組立体48は、底表面56に上向きに延びる側壁57、内壁58及び外壁59を備えたトレーから成る。仕切壁60が両側壁57間にあって、トレーの中を2つの区画61、62に仕切る。図示のように区画61の底表面56は、円筒形状の化粧品例えば口紅、カーラー、アイライナー等々を入れるため波形とすることができる。他方、区画62の底表面56はその他の形状の物品を入れるため平底として図示されている。

【0017】トレー組立体48はまた全体を符号63で示すね上げホルダー(又は保持部材)を有し、この頂表面64は鏡ケース50の波形本体部51とマッチするように、また口紅など円筒形物品を保持するため、波形にされている。頂表面64の両側に下向きフランジ65が形成され、この各々はトレー側壁57に形成されたソケット67に挿入されるピン66を支持している。口紅ホルダー63はこうして図2と図5に示す閉位置から図3と図6に示す開位置へ回転可能である。

【0018】図3に明示のように開位置にある時、口紅保持区画68が使用のために露出される。この区画68は底表面69と、前記頂表面64から下向きに延びる側壁70とにより形成される。両側壁70間をつなぐ波形内壁71が頂表面64に向き合っている。内壁71と頂表面64の向き合った波形は互いに揃っていて、その間の区画68に多数の口紅(図示の例で5本)が容易に取り出せるように収納される。

【0019】トレー組立体48は、普通の平行四辺形リンク装置、すなわちトレー組立体48の両側に配置した一对のリンクアーム72によってベース部分12内に支持される。ベース部分12の前表面35と後表面36の近くから上向きにタブ73が延びて、リンクアーム72の下端を貫通するピン74を支持している。リンクアーム72の上端はトレー組立体48の側壁57にピン止め75される。こうしてトレー組立体48は、図5に示す保管位置すなわち完全にベース部分12内に納まって、ピン74、75だけでなくリンクアーム72のリブ76によっても支えられている位置から、図2、図3及び図6に示す拡げた位置すなわちベース部分12のスカート37の頂部に乗っている位置へ関節運動させられ得る。トレー組立体48の移動を容易にするため外壁59の頂部にタブ77を形成してもよい。もちろんトレー組立体48の横方向関節運動の間、リンクアーム72はピン74とピン75上で回転して普通の平行四辺形リンク作用(並進運動)を行なう。

【0020】トレー組立体48と同様、トレー組立体49は底表面78に上向き側壁79、内壁80及び外壁81を延設したトレーから成る。両側壁79間に仕切壁82があってトレーを2つの区画83と84に分けてい
る。図示のように区画83の底表面78は円筒形状物
品、例えば口紅、カーラー、アイライナー等々を入れる
ため波形とすることができ、他方区画84の底表面78
は他の形状の物品保管用に平らになっている。区画84
はさらに所望により仕切壁82と内壁80間に延びる壁
85によって仕切ってもよい。

【0021】トレー組立体49はまた全体を符号86で
示すはね上げホルダー（又は保持部材）を有していて、
これはイヤリングなどの宝飾品を保持するのに特に適合
したものである。このホルダー86は、鏡ケース50の
本体部51の波形及び口紅ホルダー63の頂表面の波形
とマッチする波形とされた主表面87を有する。主表面
87の両側には下向きフランジ88が形成され、その各
々はトレー各側壁79に挿入されるピン89を支持して
いる。こうしてホルダー86は図2と図5に示す閉位置
から図3と図6に示す開位置へ回動可能である。波形の
主表面87には多数の小孔91が穿設され、ポストタイ
プのイヤリングなどのような物品を安全にキチンと保管
できるようにしている。

【0022】トレー組立体49はトレー組立体48と同
様に普通の平行四辺形リンク装置、すなわちトレー組立
体49の両側に位置する一対のリンクアーム92によっ
てベース部分12内に支持される。ベース部分12の前
表面35と後表面36の近くの底表面29からタブ93
が上向きに延びていて、リンクアーム92の下端を貫通
するピン94を支持している。リンクアーム92の上端
はトレー組立体49の側壁79にピン止め95されてい
る。こうしてトレー組立体49は図5に示す保管位置す
なわちベース部分12内に完全に納まってピン94、9
5だけでなくリンクアーム92のリブ96によっても支
えられた位置から、図2、図3及び図6に示す上げた位
置すなわちベース部分12のスカート37の上に乗って
いる位置まで関節運動させられ得る。トレー組立体49
の移動を容易にするため外壁81の頂部にタブ97を形
成してもよい。もちろん、トレー組立体49の横方向関
節運動の間、リンクアーム92はピン94、95上で回
転して普通の平行四辺形リンク作用（並進移動）を行な
う。

【0023】以上のように、本発明の容器10はコンパ
クトであるが多量の化粧品や宝飾品などを入れることが
でき、特定形状の化粧品や宝飾品を入れるのに特定の
に適合したいくつかの区分を有するトレー組立体を備えて
いる。詳しく言うとなすべてのタイプの物品はトレー4
8、49の下でベース底表面29上に保管することがで
き、これらに対する接近はトレー組立体48、49を外
側へ関節運動させることにより可能となる。さらに、そ

の他雑多な物品はトレー組立体48の区画61、62内
及びトレー組立体49の区画83、84に保管すること
ができ、区画61及び83への接近は特定物品ホルダー
63及び86を回動することにより可能である。同時
に、この容器10はカバー11内に隠した鏡ケース50
をもコンパクトに有していて、これも容易に手を触れる
ことができる。

【0024】本発明の思想に従って製作される容器は本
発明の前記目的を達成するもので、また化粧品や宝飾品
類を整理と分類保管する技術に実質的な改良をもたらす
ものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】図1は本発明に従って製作された化粧品・宝飾
品分類容器を閉じた状態で示す斜視図である。

【図2】図2は本発明の化粧品・宝飾品分類容器を開い
た状態で示す斜視図である。

【図3】図3は図2と同様な図であるが、諸要素を種々
の物品の使用中に典型的に経験される位置へ回動させた
斜視図である。

【図4】図4は図1の閉じた位置にある化粧品・宝飾品
分類容器の正面図である。

【図5】図5は一部を開いた状態の容器を、或る部分は
立面図で、或る部分は断面図で示す正面図である。

【図6】図6はさらに他の部分の一部開いた状態の、或
る部分は立面図で、或る部分は断面図で示す正面図であ
る。

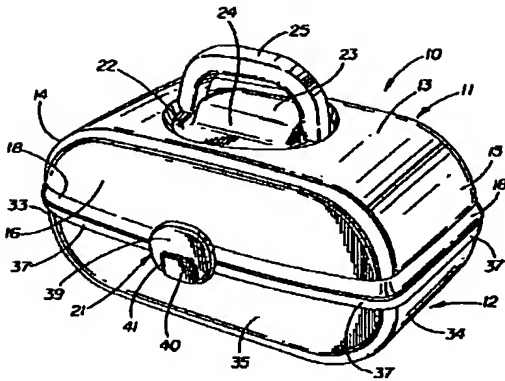
【図7】図7は図4の実質的に7-7線に沿う断面図で
ある。

【符号の説明】

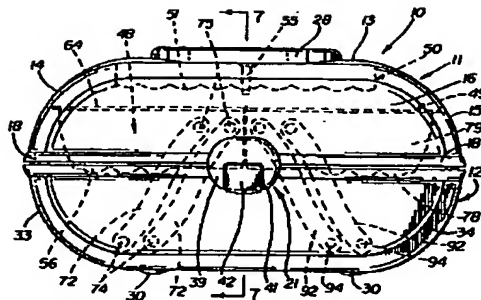
| | |
|-----------------------|-----------|
| 10…化粧品・宝飾品分類容器 | 11…カバー部分 |
| 12…ベース部分 | 20…ヒンジ機構 |
| 21…ラッチ機構 | 22…凹み |
| 25…取っ手 | |
| 29…底表面 | 32…底面凹み |
| 33, 34…円弧状の側表面 | 35…前表面 |
| 36…後表面 | |
| 48, 49…トレー組立体 | |
| 50…鏡ケース | 55…掴み |
| 56…底表面 | 61, 62…区画 |
| 63, 86…はね上げホルダー（保持部材） | |
| 64…波形頂表面 | 71…波形内壁 |
| 72, 92…リンクアーム | 76, 96…リブ |
| 78…底表面 | 83, 84…区画 |

91...小孔

【図1】

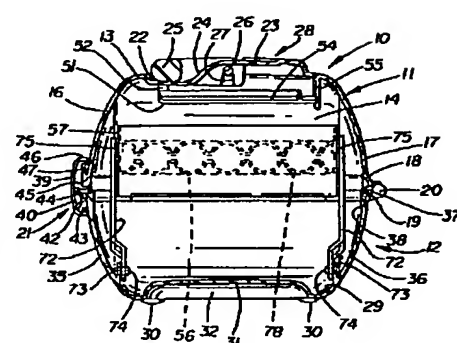
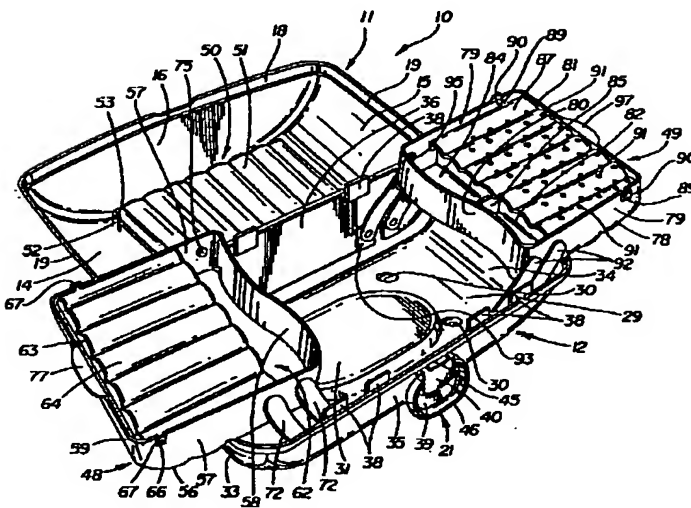


【図4】

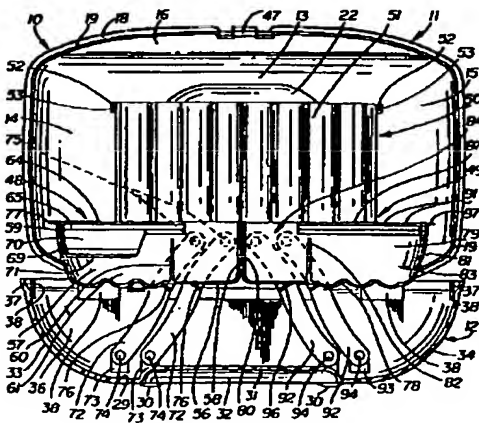


【図7】

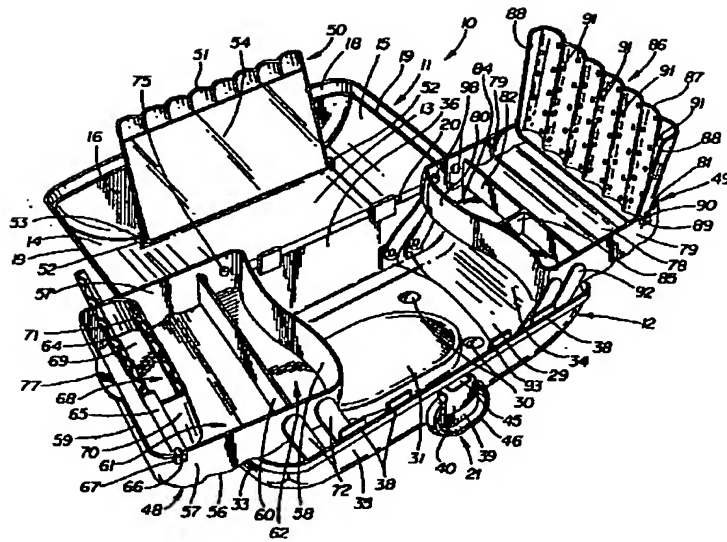
【図2】



【図5】



【図3】



【図6】

